

(別紙1) 地方創生拠点整備タイプ(令和5年度補正予算分)施設整備計画【新規事業】

1. 申請者情報

都道府県名	長野県	市区町村等名	小諸市	地方公共団体コード	20208
-------	-----	--------	-----	-----------	-------

2. 交付対象事業の名称等

単独 共同	交付対象事業の名称																	
単独	交流人口増加に向けた、みんなに愛されみんなとつながる動物園再整備事業																	
事業分野 (大項目)	観光振興(しごと創生)						事業分野 (詳細)	観光振興(DMO)等の観光分野						事業分野	○			
施設整備等の実施期間及 び施設の供用開始年度	①全体 ※その他の補助金等を用いて整備する部分も含めた全体期間						②交付対象 ※拠点整備タイプの対象事業の実施期間						施設の 供用開始年度					
	2024	年	4	月	~	2025	年	3	月	2024	年	4	月	~	2025	年	3	月
「①全体」と「②交付対象」の期間が異なる理由 ※①と②の終了時期が異なる場合のみ記載																		

3. 地域再生計画の名称等

地域再生計画の名称																		認定(初回)
交流人口増加に向けた、みんなに愛されみんなとつながる動物園再整備事業																		新規
地域再生計画の区域	長野県小諸市の全域																	
計画期間	地域再生計画の認定の日 から 2029 年 3 月 31 日 まで																	

< 変更状況確認欄 > ※軽微変更報告の際に記載

最終交付決定日		軽微変更報告日	
---------	--	---------	--

< 連携地方公共団体 >

(単位:千円)

No.	都道府県名	市区町村等名	地方公共団体 コード	地方創生拠点整備タイプ 対象事業経費	地方創生拠点整備タイプ 申請額(左記の1/2)	効果促進事業 (ソフト事業) 対象事業経費	効果促進事業 (ソフト事業)申請額 (左記の1/2)
1	長野県	小諸市	20208	360,033千円	180,016千円	6,253千円	3,126千円
計				360,033千円	180,016千円	6,253千円	3,126千円

4. 交付対象施設の概要

(1) 施設の名称及び場所

施設の名称	小諸城址・懐古園
施設の場所	小諸市丁311番地

(2-1) 施設の所有者

種類	地方公共団体	名称	長野県小諸市
出資比率			

(2-2) 施設の整備主体

整備主体	長野県小諸市
------	--------

(2-3) 民間事業者等(公共的団体等を除く)が所有主体の場合 ※該当がある場合

該当	①	民間事業者等(公共的団体等を除く)が所有する施設等を地方公共団体や公共的団体等が整備する場合			
	②	民間事業者等(公共的団体等を除く)が所有し、かつ整備する施設等について、地方公共団体が整備費を補助する場合			
要件	地方自治法に基づく「公の施設」として位置付けられるか			「公の施設」としての位置付け及び協定等の締結の時期 (例)●年●月頃	
	協定等の締結により中長期的・安定的な施設運営を担保されるか				
	「公の施設」として位置付けられない理由				
	協定等の内容				

(3) 整備対象施設が「新築」となる施設整備を行う場合 ※該当がある場合

既存施設の活用についての検討の有無	無
-------------------	---

5. 交付対象事業の背景・概要

A. 地方創生として目指す将来像(交付対象事業の背景)

【小諸市全体の将来像】

「第2期小諸市まち・ひと・しごと総合戦略」は、「小諸市第5次基本構想・第11次基本計画」の理念の下で運用しており、「小諸市第5次基本構想・第11次基本計画」の中では『住みたい 行きたい 帰ってきたい まち 小諸』をめざすまちの姿に位置づけている。今後も持続可能な自治体であり続けるために、「健康都市こもろ(小諸版ウエルネス・シティ)」をまちづくりのビジョンに据え、健康・福祉はもちろん、子育て・教育、環境、産業・交流、生活基盤、行政経営などあらゆる分野において健康・健全であることを目指している。

【観光分野における将来像】

小諸市は、かつて小諸城の城下町として北国街道沿いに形成され、北国街道を始めとしたいくつもの街道の結節点という立地条件を活かして、宿場町や商業都市として栄えたことから、中心部の街道沿いを始め、市内に数多くの歴史・伝統文化が残されている。また、浅間山、高峰高原、千曲川といった恵まれた自然環境や景観、高原野菜を始めとした盛んな農産物の生産など、バラエティーに富んだ観光資源を有している。これらは、単に観光資源であるだけでなく、「まちのアイデンティティ」を形成する重要な要素であり、多面的な価値を有する地域資源である。これらの地域資源を十二分に活用して、地域の魅力(ブランド)を確立するとともに、市内外へ訴求する。加えて、観光・交流人口の増加による観光業や各種サービス業の活性化、地元特産品の販路拡大による「農業・食品加工・流通販売」のいわゆる6次産業の活性化により、雇用の確保を図る。さらには、小諸に対する「郷土愛」を醸成することにより、移住のみならず定住の促進、定住人口の確保も図る。

これらのことを日本版DMOである「こもろ観光局」と連携して実施することで、住民にとっても観光交流客にとっても魅力ある、「住みたい 行きたい 帰ってきたい」地域を形成していくことを目指す。

B. 地方創生の実現における構造的な課題

【小諸市全体の主な構造的な課題】

2021年度から「こもろ観光局」と連携し、様々な媒体で情報発信し、知名度の向上に力を入れてきた。それにより、コロナ禍にも関わらず来訪者が増加することを実証できた(※1)ため、メディア拡散を続けていく必要がある。しかし、市内への来訪者が毎年減少傾向である(※2)。観光動線となっている観光拠点が点在しており、この地域に未活用の資源が多数存在しているが、老朽化により魅力が失われている状態などの構造的な課題を抱えている。

今後のさらなる飛躍のために解決すべき課題を次のとおり整理した。

※1 観光地利用者統計調査結果_懐古園利用者(無料利用者含む) 2020_23万人⇒2021_40万人

※2 同調査結果 2002_80万人⇒2022_55万人

①知名度の低下

小諸市は、かつては島崎藤村をはじめとする文豪の存在などから、全国的に知名度が高かった。しかし、株式会社ブランド総合研究所が実施した「地域ブランド調査 市区町村魅力度ランキング2023」では、近隣の軽井沢町が12位にランクされているのに対し、小諸市はランク外となっている。

また、佐久広域連合が実施した佐久広域エリア観光意向調査(2012年実施)では、懐古園の認知度が50代以上の者は50%以上であるのに対して、40代以下は40%を上限に年代が下がるごとに低下し、20代は20%代と観光拠点としての将来が危惧される状況である。

②観光客の減少

当市は、多くの地域資源を有し、かつては島崎藤村をはじめとする小諸にゆかりのある文豪の存在などから、「小諸」の地名が全国に知れ渡っており、「小諸城址・懐古園」を代表とした日本でも有数の観光地であった。長野県が実施する2002年観光地利用者統計調査結果では小諸市観光地利用者数は年間185万人となっている。しかし、近年では、同調査の2022年小諸市観光地利用者数が137万人程度となっている。

小諸市の観光の中心である「小諸城址・懐古園」の有料入園者数も、1997年以前までは年間40万人を超えていたが、それ以降コロナ禍もあいまって減少の一途をたどり、2022年には18.5万人まで減少した。この要因の一つとして、若年層の誘客の乏しさが挙げられる。2019年度に実施した交通社会実験での観光バス及び市街地周遊スマートカートの利用者調査によると、30代以下の利用者は30%程度に留まっている。

③豊富な地域資源の未活用、老朽化

小諸市は、日本100名城や日本さくら名所100選にも選定されるなど、豊富な地域資源を有している。しかし、その管理が不十分で、豊富な地域資源が活かされていない。また、施設の老朽化や動物の高齢化など、様々な課題に直面している。また、地域資源に関する市独自の認定制度である「小諸市ふるさと遺産」があるが、105件の登録に対し、活用されているものは20%程度に留まっている(なお、動物園もふるさと遺産に認定されている。)

【観光拠点である小諸城址・懐古園(動物園)の課題】

小諸城址・懐古園の一角に位置する動物園は、国内で5番目に古く、小さい動物園ならではの手作り解説パネルの設置や、飼育員が来園者と動物に寄り添ったふれあい体験等のイベントが、長年にわたり地域住民をはじめ観光客にも愛されてきた。

そのノウハウを更に活かし入園者を増やすためには、狭い敷地を有効活用しながら、変化に富んだ展示パドックや動物の生態や行動の特徴が発揮できる仕掛け作り、その様子が間近に観察できるビューポイントの設置が必要である。

しかしながら、ふれあえる動物舎が点在し、利便性と管理運営の効率が悪い上、施設の老朽化や動物の高齢化、動物福祉に考慮した獣舎の改修など様々な課題に直面しており、認知度の低さも伴って入園者数及び入園料収入が減少している。

<p>C. 交付対象事業の概要(利活用方策) (デジタル社会の形成に寄与することが期待される施設整備又は設備整備が含まれる場合には、その必要性及び利活用方策について事業目的との関連性が分かるように具体的に記載)</p> <p>2026年には小諸市動物園が開園100周年を迎える。この節目を機に、小諸市は、ターゲットとしている若年層やファミリー層への発信に「ふれあい」のテーマをより強調し、動物園を再整備することで、みんなに愛され、「また行きたい」と思ってもらえる魅力ある観光施設として再認識されることを目指す。これにより、動物園と一体となった小諸城址・懐古園への入園者数の増加をはじめ、交流人口の増加やまちの活性化を図るため、下記のとおり施設整備及び利活用を実施する。</p> <p>課題①知名度の低下の解消(情報発信) (1)ライブ配信やホームページの改修 小諸城址・懐古園の動物園では、動物たちの日常の様子をライブ配信することで、来園者への期待感を高める。また、小諸城址・懐古園の四季折々の風景をライブ配信することで、季節ごとの魅力を発信する。さらに、小諸市のホームページを魅力あるものに改修することで、市内観光スポットの情報をわかりやすく発信し、小諸の認知度を高める。これにより、小諸城址・懐古園だけでなく、市内各地の観光スポットへの来訪を促す。 (2)入園チケットのデジタル化及び観光・交通Eコマースアプリとの連携整備 小諸城址・懐古園の紙の入園券は、購入場所が限られる、取り扱いが煩雑であるなどの課題がある。そこで、小諸市が運営するLINE公式アカウント「信州こもろ・こま〜す(以下、eコマースアプリという)」で電子チケットを販売することで、入園者の利便性を向上させる。また、アプリでは小諸市内の店舗・観光スポットの情報や位置を検索できるほか、アプリ登録者へLINEを通じて情報を発信することができる。これにより、小諸城址・懐古園周辺に点在する歴史的建造物や駅前商店街への回遊性や再訪性を向上させる。</p> <p>課題②観光客(来園者)増加に向けた観光拠点(動物園)整備 (1)新規動物の獣舎の整備 動物の生態や行動を引き出す環境づくりを行い、好奇心を刺激するような展示や、動物とのふれあい体験プログラムを増やすことで、来園者の興味関心を高める。また、ふれあい体験ができる動物獣舎をまとめることで、利便性や散策の効率性が向上され入園者の負担を軽減する。 (2)動物福祉にかなった獣舎の整備 動物の健康と快適性に配慮した設計・設備を導入することで、動物本来の習性や特性を引き出し動物の魅力を高める。 (3)くつろぎの場やトイレの整備 雨天時の一時避難場所や1日過ごせるくつろぎの場、清潔感あるトイレや授乳室の整備は、来園者の施設の利便性を高め、滞在時間延長と再来園促進につながる。 (4)園路や門扉の整備 緊急車両の通行確保やバリアフリー化した園路の整備により、子どもにも障害者にも安心安全な施設にすることで若年層やファミリー層の集客を目指す。</p> <p>課題③豊富な地域資源の未活用、老朽化の解決 上記の施設整備により来園者が増加することで、その他の地域資源(観光地・既存店など)の利用も相乗的に増加することが期待される。当たり前の資源が魅力的な資源であると認識が変わることで、地域資源に関心の無かった市民の郷土愛が醸成されると考えられる。これにより、市民や民間企業を主体とした地域資源の有効活用につながる。</p>		
<p>(C-1)マイナンバーカードの利活用方策の具体的内容 ※該当がある場合</p>		
<p>D. 交付対象事業が構造的な課題の解決に寄与する理由</p> <p>小諸市を訪れる観光客の約40%が小諸城址・懐古園を訪れ、2026年に動物園開園100周年を迎える。この2つの要因や機会を活用して、小諸城址・懐古園や動物園をリニューアルする本事業を実施するものである。 リニューアルにより、小諸城址・懐古園や動物園の魅力度や情報発信力が大きく向上する。その結果、地方創生の実現における構造的な課題である「知名度の低下」「観光客の減少」「豊富な地域資源の未活用・老朽化」を解消につなげることができる。</p> <p>課題解決理由①知名度の低下の解消、②観光客増加に向けた整備 ○観光コンテンツの磨き上げによる魅力度の向上 小諸の知名度を解消するには、まず「小諸には魅力的な観光コンテンツがある」ということを知ってもらう必要がある。そのためには、そのコンテンツを磨き上げ、魅力度を向上させることが重要である。 歴史ある動物園をリニューアルすることで、動物たちがいきいきと快適に過ごせる環境を整えるとともに餌やりやふれあい体験をしやすいとする。また、来園者にとって居心地よく、安全・快適に動物と出会う場を提供する。これを情報発信することにより、今まで「小諸」を知らなかった観光客の誘客が図られ、幅広い世代に親しまれる観光拠点となるのが期待できる。 さらに、若年層やファミリー層は、SNS等を活用して旅先の魅力を写真や動画で発信することが多いため、その効果を活用することも重要である。リニューアルした動物園の魅力を積極的に発信することで、より多くの同世代にリアルな「小諸」を周知し、来訪を促すことができる。 また、開園100周年を冠事業にリニューアルオープンすることを報道機関にPRすることで、集客向上を目指す。 懐古園及び駅周辺には、魅力的な地域資源が活用されずに残っている。この地域を文化・観光交流の拠点と位置づけ、有効活用できるよう同時に別事業で整備する予定で、新たな観光コンテンツを創出することができる。</p> <p>○まちなか観光への相乗効果 「小諸」の地を知らなかった観光客が、リニューアルされた動物園へ訪問することで、駅周辺の観光スポットや店舗等への波及効果が見込まれる。 小諸城址・懐古園は、小諸駅からほぼ直結する恵まれたアクセス環境にあり、駅周辺から広がる城下町や宿場町といった歴史的町並みにも近く、好立地な場所であることから、ここを拠点に小諸版観光MasS(公共交通システム)で他の観光スポットへの誘導ができる。この誘導のための戦略として、現在、運用しているeコマースアプリにデジタル入園チケットを導入することで、アプリ利用者に対してまちなかで行われるイベントの情報発信が定期的に届けることが可能になる。 また、春から秋にかけて民間主導で毎週行われる駅周辺の公園のイベントに懐古園から観光客を誘導することで、周辺に整備している観光拠点や商店街への回遊性を高めるなど相互往來の相乗効果が見込まれ、観光振興及び商業活性化につながる。</p> <p>課題解決理由③豊富な地域資源の未活用、老朽化への対応 小諸市は、駅周辺の公園整備や複合型中心拠点誘導施設の建設といった中心市街地の拠点整備を実施してきた。拠点とその周辺をネットワーク化して、つながりを強化することによって、さまざまな事業の効果を引き出しており、「ネットワーク型コンパクトシティ」を実現しつつある。この取り組みに加えて、当市の優良コンテンツである小諸城址・懐古園(動物園)をリニューアルすることで関係人口をさらに創出できれば、観光拠点に観光客が増加し、今まで掘り起こされなかった資源が掘り起こされる。さらに地域の空き家や空き店舗を活用したい者も増加している動きを継続させることができる。</p>		
<p>E. 建築物と一体的に活用される設備整備及び用地造成についての利活用方策が、地方創生への高い効果が期待できる理由 (取扱いⅢ.2。(2)エの地方創生への高い効果が期待される設備整備・用地造成事業に該当する場合は「有」を選択し理由を記載、該当しない場合は「無」を選択)</p>		
該当の有無	無	※当該年度において1団体あたり1事業の申請に限る

6. 地方版総合戦略の策定状況等

地方公共団体名	地方版総合戦略の計画期間・基本目標																									
	現行の地方版総合戦略						次期地方版総合戦略 (本事業の開始前又は本事業期間中に現行の地方版総合戦略の計画期限を迎える場合)																			
長野県小諸市	2021	年	4	月	1	日	～	2025	年	3	月	31	日		年		月		日	～		年		月		日
	地方とつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる。こもろ観光局と密接に連携・協力し、小諸の自然や歴史・文化を活かした効果的なプロモーションを展開する。また、動物園再整備などにより入園者が減少している懐古園の魅力アップを進め、入園者の増加を目指す。																									
本事業における、国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」又は「デジタル田園都市国家構想総合戦略」と地方版総合戦略との取組方針やKPIの整合性 (取扱いⅢ.2.(2)エの地方創生への高い効果が期待される設備整備・用地造成事業として申請する場合に記載)	第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の政策パッケージに掲げる個別施策																									
	デジタル田園都市国家構想総合戦略との整合																									

7. 関連事業の概要

(1) 交付対象事業と他の国庫補助金等との関連性

当該施設において他の国庫補助金等の対象となる部分があるか	無		
他の国庫補助金等の対象となる部分を地方創生拠点整備タイプの対象から除外しているか			
地方創生推進タイプ(先駆型)を活用して5年間実施した事業において、主たるKPIを複数達成した事業	事業名称		
	事業概要		
	高度化の考え方		

(2) 企業版ふるさと納税

企業版ふるさと納税との併用の有無	有	寄附を行う法人の具体的な見込みの有無	有	企業版ふるさと納税による寄附見込額	2,000千円
企業版ふるさと納税の地域再生計画の名称	小諸版ウエルネス・シティ まち・ひと・しごと創生推進計画				

(3) 地域再生法の支援措置によらない独自の取組 ※KPIを達成するための関連事業を必ず記載

事業名	動物えさやり体験・ふれあい体験															
事業概要	動物にぬくもりや「生きている命」の大切さを感じ、動物愛護を目的とした子供向けの事業 【内容】 毎週土日・祝日 ・モルモットや家畜動物(ヤギ・ポニー・ヒツジ)に餌やりをする。 ・モルモットやパンダマウスとふれあい体験 その他、特別企画として季節ごとに動物とイベントも開催。															
事業実施主体	長野県小諸市															
事業実施期間	2026	年	4	月	1	日	から	2029	年	3	月	31	日	まで		
事業名	小諸市動物園第2期整備事業クラウドファンディング															
事業概要	動物園第2期再整備事業に伴って、これからもみんなに愛され地域の誇りとなる動物園として次世代に継承していただくためにクラウドファンディングを実施。クラウドファンディングをしていただいた方には、記念品贈呈等を計画。															
事業実施主体	長野県小諸市															
事業実施期間	2024	年	4	月	1	日	から	2029	年	3	月	31	日	まで		
事業名	秋あかり小諸															
事業概要	小諸城址・懐古園の紅葉まつりに訪れた観光客や地元住民に、ナイトタイムの新しい小諸の魅力を楽しんでもらうことで、中心市街地への回遊性や滞在時間の延長、観光消費額の増を目的に開催。 【内容】 小諸かるたの絵札・読み句を描いた灯ろうを小諸城址・懐古園の玄関口である三の門から中心市街地へ続く歩道や駅周辺の公園に100基設置し16時～22時まで燈す。初日、点灯式には市内事業者の飲食などの出店。事業者間の交流会も開催し、観光・商業を盛上げる気運を高め事業者間の連携を図る。															
事業実施主体	長野県小諸商工会議所、長野県小諸市															
事業実施期間	2024	年	4	月	1	日	から	2029	年	3	月	31	日	まで		

8. 交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)、費用対効果分析等

KPI① (アウトカムベースで、複数年度を通じて評価指標としてふさわしいもの)	地域における観光消費額(1人当たり1回の旅行)											単位	円/人	
KPI②	小諸城址・懐古園の有料入園者数											単位	百人	
KPI③	観光地入込数											単位	万人	
KPI④												単位		
設定したKPIが複数年にわたって費用対効果を計測するのに適している理由・計測方法・目標値の根拠	<p>①市内の消費、収益を示す指標として、市全体の経済状況が評価できるため。(市内宿泊施設にQRコードを配布し、Webアンケート方式で計測)目標値根拠:2023年度市内消費見込み額を基準に毎年約1%増加を見込む。</p> <p>②市を代表する施設で、小諸城址・懐古園の入園料共通券は動物園入園料が含まれているため。(小諸城址・懐古園の入園券販売枚数で計測)目標値根拠:2023年度有料入園者見込み数を基準とし、2026年度は約8%増加(以下に記載)を見込む。2027年度以降は毎年約1%増加を見込む。 ※2025年度は、進入路(橋梁)の長寿命化対策工事(2つしかない進入路の内の1つである橋であり、もう一方の進入路が狭いうえに工事車両が頻繁に通行するため来園者に危険が生じ閉園が困難)、動物園内の別エリアの整備工事、閉園の準備等により、完全閉園予定であるため、供用開始は2026年度。 ※2024年度は、当該整備工事により動物園の一部が閉園、2025年度は動物園が完全閉園となるため、KPI増加分は0とする。 ※「2022年度実績(第1期整備後の閉園年度)」-「2019年度実績(コロナ禍前かつ第1期整備工事前)」=約8%増加。 2026年度は、動物園第1期整備リニューアルオープンによる増加分と同程度の入園者数増加を見込む。</p> <p>③市全体の交流人口を示す指標として、地域全体のブランド価値の動向を評価できるため。(主要観光地に毎月の入込数を照会して計測。無料利用者数も含む。)目標値根拠:2023年度観光地入込見込み数を基準にし、2024年度・2025年度は小諸城址懐古園の一部(動物園)が閉園となるため、観光地入込数についても増加分は0とする。2026年度は3.2%の増加を見込む。2027年度以降は毎年約1%増加を見込む。 ※観光地利用者数統計調査に占める懐古園の割合は約40%。「KPI②の8%増加見込み」×「約40%」=3.2%</p>													
		事業開始前(現時点)	2024年度増加分	2025年度増加分	2026年度増加分	2027年度増加分	2028年度増加分	年度増加分	年度増加分	年度増加分	年度増加分	年度増加分	年度増加分	KPI増加分の累計
	KPI①【①】	28,311.00	284.00	285.00	289.00	292.00	295.00	297.00	301.00					2,043.00
	KPI②	1,855.00	0.00	0.00	148.40	18.60	20.20	20.40	20.60					228.20
KPI③	137.00	0.00	0.00	4.30	1.40	1.40	1.40	1.40					9.90	
KPI④													0.00	
交付対象事業経費【②】												366,286千円		
交付対象事業における単位当たりコスト【②/①】												179.29千円		
交付対象事業における施設整備等事業経費【③】												306,764千円		
交付対象事業における効果促進事業(ハード事業)経費【④】												53,269千円		
交付対象事業における効果促進事業(ソフト事業)経費【⑤】												6,253千円		
交付対象事業における効果促進事業比率【④+⑤/②】												16.3%		
全体事業費												366,286千円		

<過去に地方創生拠点整備タイプを用いて整備した施設と同一の施設に追加して行う施設整備等である場合>※該当がある場合

前身事業名		初回採択		
-------	--	------	--	--

9. 経費内訳

(1) 交付対象事業経費

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③			
2024 年 4 月	2025 年 3 月	2024 年 4 月	当初	2024 年 6 月	補正	年 月				
交付対象事業経費		366,286千円								
交付対象事業経費 (地方創生推進タイプ活用分を除く)		360,033千円								
施設整備等経費 (設備整備・用地造成を除く)	306,764千円	施設整備等経費 (設備整備・用地造成)	0千円	効果促進事業 (ハード事業)経費	53,269千円	効果促進事業 (ソフト事業)経費	6,253千円			
間接補助分 (4.(2-3)②該当分) ※その他の補助金等を除いた金額	全体事業費	0千円	交付対象事業経費 の上限額	国の負担		0千円	0.0%			
	民間事業者等への補助額	0千円		地方公共団体の負担		0千円	0.0%			
	交付対象事業経費	0千円		0千円	民間事業者等の負担		0千円	0.0%		
施設整備等の内容(設備整備・用地造成を除く)										
区分	間接補助 (4.(2-3) ②該当)	整備内容の説明	金額(千円)		経費内訳					
			全体	対象						
新築		【施設名称】 小諸市動物園	306,764	306,764	【建築物本体工事】 254,969千円 (うち、交付対象事業経費 254,969千円)					
		【整備内容】 建築工事 ・動物獣舎(ポニー、ヤギ、ヒツジ、リクガメ、ミ ニブタ) ・動物園入口門扉 ・インフォメーションコーナー(トイレ、多目的ト イレ、授乳室、展示ブース)			・建築工事費 170,671千円 (うち、交付対象事業経費 170,671千円) ・仮設費 12,835千円 (うち、交付対象事業経費 12,835千円) ・現場管理費 35,737千円 (うち、交付対象事業経費 35,737千円) ・一般管理費 35,726千円 (うち、交付対象事業経費 35,726千円)					
		【施設整備に伴う委託料】 ・施工管理費委託料			【建築物と不可分な設備工事】 32,795千円 (うち、交付対象事業経費 32,795千円) ・電気設備工事 20,152千円 (うち、交付対象事業経費 20,152千円) ・機械整備工事 12,643千円 (うち、交付対象事業経費 12,643千円)					
					【施設整備に伴う委託料】 ・施工管理費委託料 19,000千円 (うち、交付対象事業経費 19,000千円)					
					【合計】 306,764千円 (うち、交付対象事業経費 306,764千円)					
		間接補助(4.(2-3)②該当)の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額								
		全体事業費								
		民間事業者等への補助額								
		上記補助額の地方公共団 体ごとの内訳 ※共同事業の場合								
		交付対象事業経費 の上限額			0千円	国の負担		0千円	0.0%	
				地方公共団 体の負担		0千円	0.0%			
				民間事業者等 の負担		0千円	0.0%			

					<p>間接補助(4.(2-3)②該当)の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">全体事業費</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">民間事業者等への補助額</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">交付対象事業経費 の上限額</td> <td rowspan="3">0千円</td> <td>国の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>地方公共団体の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>民間事業者等の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>					全体事業費					民間事業者等への補助額					上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合					交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%	地方公共団体の負担	0千円	0.0%	民間事業者等の負担	0千円	0.0%
全体事業費																																			
民間事業者等への補助額																																			
上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合																																			
交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%																															
		地方公共団体の負担	0千円	0.0%																															
		民間事業者等の負担	0千円	0.0%																															
					<p>間接補助(4.(2-3)②該当)の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">全体事業費</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">民間事業者等への補助額</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">交付対象事業経費 の上限額</td> <td rowspan="3">0千円</td> <td>国の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>地方公共団体の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>民間事業者等の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>					全体事業費					民間事業者等への補助額					上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合					交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%	地方公共団体の負担	0千円	0.0%	民間事業者等の負担	0千円	0.0%
全体事業費																																			
民間事業者等への補助額																																			
上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合																																			
交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%																															
		地方公共団体の負担	0千円	0.0%																															
		民間事業者等の負担	0千円	0.0%																															
					<p>間接補助(4.(2-3)②該当)の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">全体事業費</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">民間事業者等への補助額</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">交付対象事業経費 の上限額</td> <td rowspan="3">0千円</td> <td>国の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>地方公共団体の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>民間事業者等の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>					全体事業費					民間事業者等への補助額					上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合					交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%	地方公共団体の負担	0千円	0.0%	民間事業者等の負担	0千円	0.0%
全体事業費																																			
民間事業者等への補助額																																			
上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合																																			
交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%																															
		地方公共団体の負担	0千円	0.0%																															
		民間事業者等の負担	0千円	0.0%																															
					<p>間接補助(4.(2-3)②該当)の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">全体事業費</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">民間事業者等への補助額</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">交付対象事業経費 の上限額</td> <td rowspan="3">0千円</td> <td>国の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>地方公共団体の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>民間事業者等の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>					全体事業費					民間事業者等への補助額					上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合					交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%	地方公共団体の負担	0千円	0.0%	民間事業者等の負担	0千円	0.0%
全体事業費																																			
民間事業者等への補助額																																			
上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合																																			
交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%																															
		地方公共団体の負担	0千円	0.0%																															
		民間事業者等の負担	0千円	0.0%																															
小計			306,764	306,764																															
うち間接補助(4.(2-3)②該当)			0	0																															

施設整備等の内容(設備整備・用地造成)

区分	間接補助 (4.(2-3) ②該当)	整備内容の説明	金額(千円)		経費内訳				
			全体	対象					
					間接補助(4.(2-3)②該当)の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額				
					全体事業費				
					民間事業者等への補助額				
					上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合				
					交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%
							地方公共団体の負担	0千円	0.0%
							民間事業者等の負担	0千円	0.0%
					間接補助(4.(2-3)②該当)の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額				
					全体事業費				
					民間事業者等への補助額				
					上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合				
					交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%
							地方公共団体の負担	0千円	0.0%
							民間事業者等の負担	0千円	0.0%
					間接補助(4.(2-3)②該当)の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額				
					全体事業費				
					民間事業者等への補助額				
					上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合				
					交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%
							地方公共団体の負担	0千円	0.0%
							民間事業者等の負担	0千円	0.0%

					<p style="text-align: center;">間接補助(4.(2-3)②該当)の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">全体事業費</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">民間事業者等への補助額</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">交付対象事業経費の上限額</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0千円</td> <td style="text-align: center;">国の負担</td> <td style="text-align: center;">0千円</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">地方公共団体の負担</td> <td style="text-align: center;">0千円</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">民間事業者等の負担</td> <td style="text-align: center;">0千円</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> </tr> </table>					全体事業費					民間事業者等への補助額					上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合					交付対象事業経費の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%	地方公共団体の負担	0千円	0.0%	民間事業者等の負担	0千円	0.0%
全体事業費																																			
民間事業者等への補助額																																			
上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合																																			
交付対象事業経費の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%																															
		地方公共団体の負担	0千円	0.0%																															
		民間事業者等の負担	0千円	0.0%																															
					<p style="text-align: center;">間接補助(4.(2-3)②該当)の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">全体事業費</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">民間事業者等への補助額</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">交付対象事業経費の上限額</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0千円</td> <td style="text-align: center;">国の負担</td> <td style="text-align: center;">0千円</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">地方公共団体の負担</td> <td style="text-align: center;">0千円</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">民間事業者等の負担</td> <td style="text-align: center;">0千円</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> </tr> </table>					全体事業費					民間事業者等への補助額					上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合					交付対象事業経費の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%	地方公共団体の負担	0千円	0.0%	民間事業者等の負担	0千円	0.0%
全体事業費																																			
民間事業者等への補助額																																			
上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合																																			
交付対象事業経費の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%																															
		地方公共団体の負担	0千円	0.0%																															
		民間事業者等の負担	0千円	0.0%																															
小計			0	0																															
うち間接補助(4.(2-3)②該当)			0	0																															

効果促進事業(ハード事業)の内容															
間接補助 (4.(2-3) ②該当)	効果促進事業(ハード事業)の説明	金額(千円)		経費内訳											
		全体	対象												
	<p>【解体工事費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・門扉解体撤去 ・園路拡幅による石垣撤去 ・アスファルト舗装解体撤去 <p>既存の門扉の幅や園路の幅員は、緊急車両の進入が困難であるため整備が必要である。</p> <p>【動物パドック等整備費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物パドック ・パドック柵等 ・園内フェンス ・植栽等 <p>動物獣舎と一体となった整備が必要のため。</p>	53,269	53,269	<p>【解体工事費】 2,495千円 (うち、交付対象事業経費 2,495千円)</p> <p>【動物パドック整備費】 50,774千円 (うち、交付対象事業経費 50,774千円)</p> <p>【合計】 53,269千円 (うち、交付対象事業経費 53,269千円)</p>	<p>間接補助(4.(2-3)②該当)の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額</p> <table border="1"> <tr> <td>全体事業費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>民間事業者等への補助額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合</td> <td></td> </tr> </table>		全体事業費		民間事業者等への補助額		上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合				
全体事業費															
民間事業者等への補助額															
上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合															
				<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">交付対象事業経費 の上限額</td> <td rowspan="3">0千円</td> <td>国の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>地方公共団体の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>民間事業者等の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>	交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%	地方公共団体の負担	0千円	0.0%	民間事業者等の負担	0千円	0.0%
交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%											
		地方公共団体の負担	0千円	0.0%											
		民間事業者等の負担	0千円	0.0%											
				<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">交付対象事業経費 の上限額</td> <td rowspan="3">0千円</td> <td>国の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>地方公共団体の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>民間事業者等の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>	交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%	地方公共団体の負担	0千円	0.0%	民間事業者等の負担	0千円	0.0%
交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%											
		地方公共団体の負担	0千円	0.0%											
		民間事業者等の負担	0千円	0.0%											
				<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">交付対象事業経費 の上限額</td> <td rowspan="3">0千円</td> <td>国の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>地方公共団体の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>民間事業者等の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>	交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%	地方公共団体の負担	0千円	0.0%	民間事業者等の負担	0千円	0.0%
交付対象事業経費 の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%											
		地方公共団体の負担	0千円	0.0%											
		民間事業者等の負担	0千円	0.0%											

				<p>間接補助(4.(2-3)②該当)の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">全体事業費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">民間事業者等への補助額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					全体事業費						民間事業者等への補助額						上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合					
全体事業費																										
民間事業者等への補助額																										
上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合																										
				交付対象事業経費の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%																		
						地方公共団体の負担	0千円	0.0%																		
						民間事業者等の負担	0千円	0.0%																		
				<p>間接補助(4.(2-3)②該当)の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">全体事業費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">民間事業者等への補助額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					全体事業費						民間事業者等への補助額						上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合					
全体事業費																										
民間事業者等への補助額																										
上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合																										
				交付対象事業経費の上限額	0千円	国の負担	0千円	0.0%																		
						地方公共団体の負担	0千円	0.0%																		
						民間事業者等の負担	0千円	0.0%																		
小計		53,269	53,269																							
うち間接補助(4.(2-3)②該当)		0	0																							

効果促進事業(ソフト事業)の内容															
間接補助 (4.(2-3) ②該当)	効果促進事業(ソフト事業)の説明	金額(千円)		経費内訳											
		全体	対象												
	<p>【ホームページ改修事業】 動物園WEBサイトの再構築 ・施設のリニューアル及び新規動物の導入、動物園開園100周年に向けて、それに応じた見やすくワクワクさせるホームページの改修が必要のため。</p> <p>【動物生態等ライブ配信事業】 定点カメラの設置及び通信回線整備 ・動物の日常生活を世界にYouTubeでライブ配信する。また、昼間にはみせない夜行性の生態を放映し、夜の動物園イベントの誘客につなげる。 ・隣接する懐古園の桜の開花や紅葉などの映像もあわせて放映し、相乗効果を生み出す。 ・幅広い年層に「小諸」を周知する必要があるため。</p> <p>【入園チケットデジタル化事業】 デジタルチケットシステム構築 ・eコマースアプリに、電子チケット機能を導入する。 ・券売の事務効率や来訪者の利便性を向上させる必要があるため。 ・アプリ登録者には観光、イベント情報を発信し回遊性及び再来訪を促すため。</p> <p>【土産品・物産品等開発事業】 動物園開園100周年の記念グッズの開発。 ・開園100周年の記念グッズにより、集客を促し、再来訪のきっかけづくりとなるため。 ・市内企業の収益または小諸の認知度をあげ観光入込数の増加を図る必要があるため。</p> <p>【デジタル技術を活用している内容の説明】 ・ホームページ改修 リニューアルした施設や散策ルートの提案、新規に導入した動物の紹介などをWEB上で情報発信する。 ・動物生態等ライブ配信事業 人気動物の獣舎、小諸城址・懐古園の園内に定点カメラを設置し、動物の生態や風景などの映像をライブ配信する。 ・入園チケットデジタル化事業 eコマースアプリを活用し、電子チケット購入機能を追加する。</p>	6,253	6,253	<p>【ホームページ改修事業】 ・動物園サイト構築委託料 1,120千円 (うち、交付対象事業経費 1,120千円)</p> <p>【動物生態等ライブ配信事業】 2,333千円 (うち、交付対象事業経費 2,333千円) ・定点カメラ購入2台 924千円 ・設置工事費 1,210千円 ・通信回線等初期費用 199千円</p> <p>【入園チケットデジタル化事業】 ・機能追加委託料 1,800千円 (うち、交付対象事業経費 1,800千円)</p> <p>【土産品・物産品等開発事業】 ・開発委託料 1,000千円 (うち、交付対象事業経費 1,000千円)</p> <p>【合計】 6,253千円 (うち、交付対象事業経費 6,253千円)</p> <p>(うち、デジタル技術を活用している内容) ・ホームページ改修事業 1,120千円 ・動物生態等ライブ配信事業 2,333千円 ・入園チケットデジタル化事業 1,800千円</p>	間接補助(4.(2-3)②該当)の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額										
				全体事業費											
				民間事業者等への補助額											
				上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合											
				交付対象事業経費の上限額	0千円	<table border="1"> <tr> <td>国の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>地方公共団体の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>民間事業者等の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>	国の負担	0千円	0.0%	地方公共団体の負担	0千円	0.0%	民間事業者等の負担	0千円	0.0%
国の負担	0千円	0.0%													
地方公共団体の負担	0千円	0.0%													
民間事業者等の負担	0千円	0.0%													
間接補助(4.(2-3)②該当)の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額															
				全体事業費											
				民間事業者等への補助額											
				上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合											
				交付対象事業経費の上限額	0千円	<table border="1"> <tr> <td>国の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>地方公共団体の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>民間事業者等の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>	国の負担	0千円	0.0%	地方公共団体の負担	0千円	0.0%	民間事業者等の負担	0千円	0.0%
国の負担	0千円	0.0%													
地方公共団体の負担	0千円	0.0%													
民間事業者等の負担	0千円	0.0%													
間接補助(4.(2-3)②該当)の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額															
				全体事業費											
				民間事業者等への補助額											
				上記補助額の地方公共団体ごとの内訳 ※共同事業の場合											
				交付対象事業経費の上限額	0千円	<table border="1"> <tr> <td>国の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>地方公共団体の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>民間事業者等の負担</td> <td>0千円</td> <td>0.0%</td> </tr> </table>	国の負担	0千円	0.0%	地方公共団体の負担	0千円	0.0%	民間事業者等の負担	0千円	0.0%
国の負担	0千円	0.0%													
地方公共団体の負担	0千円	0.0%													
民間事業者等の負担	0千円	0.0%													
小計		6,253	6,253												
うち間接補助(4.(2-3)②該当)		0	0												

10. 先導性に係る取組

		取組内容			
<p>(1) 自立性</p> <p>事業を進めていく中で、事業推進主体が自立していくことにより、将来的に交付金に頼らずに、事業として継続していくことが可能となる事業であること。</p>	<p>本市の観光拠点である小諸城址・懐古園の一角にある動物園を整備することで、更なる動物園の魅力アップを図り、持続可能な施設運営、将来的には持続可能な観光地の拠点となり、日本版DMOこもろ観光局を中心としたプロモーションによるブランド力向上により、『稼げる観光地域づくり』を推進していく。</p> <p>動物園では、具体的に以下の事業等で動物園の「ファン」を増やし、入園者及び入園料の増加やクラウドファンディングなどの自主財源を確保し、安定的な経営を継続していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規動物の導入や雨天時でも対応可能な動物とふれあう場づくりを行い、従来から人気のある動物とのふれあい体験を更に充実させ、体験を増やす。 ・園内で来園者がくつろげる場や快適で清潔な施設環境、物販機能を設けることで、ファミリー層の誘客を高める。 ・小諸城址・懐古園の桜まつり又は紅葉まつり時にライトアップや夜の動物園「ナイトZOO」等のイベント開催。 ・限定グッズなどを返礼品としたクラウドファンディングの実施や、企業版ふるさと納税、寄附などを募る。 ・新規動物や人気動物のグッズの開発及び製作販売を行い収益を増やす。 ・市民サポーター制度の導入における支援を通じて、飼育員の雇用創出や人材育成を生み出す。 ・市内農家と連携を図り、動物の餌として活用できる野菜や果樹などを提供してもらう。 <p>※小諸城址・懐古園の事業収入については別添の資料添付</p>				
	(1-1) 供用開始後の当該施設の収支計画	本事業による施設整備前	施設の供用開始年度 2026年度	2年目	3年目
	事業経費及び維持管理経費（支出）	139,000千円	131,808千円	134,048千円	134,048千円
	事業収入	111,000千円	141,500千円	135,130千円	134,879千円
	地方公共団体の一般財源による措置	28,000千円	0千円	0千円	0千円
(1-2) 事業収入の考え方	<p>営業収益(懐古園入園料)、営業外収益(駐車場料金、公園使用料、遊具使用料) 2026年度は、リニューアルオープン及び動物園開園100周年記念事業等で収入の増加を見込む。 供用開始以後の支出減は、駐車場整備に伴う作業警備員等的人件費の減によるもの。</p>				
<p>(2) 官民協働</p> <p>地方公共団体のみでの取組ではなく、民間と協働して行う事業であること。また、単に協働することとあわせて、民間からの資金(融資や出資など)を得て行うことがあれば、より望ましい。</p>	<p>観光事業者をはじめとする様々な業種の団体や行政で組織された日本版DMO「こもろ観光局」が中心となって、行政だけでは取り組めなかった収益事業を行うことで、観光地域づくりの推進を図る。</p> <p>【日本版DMOこもろ観光局の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小諸城址・懐古園を拠点とした市内バス事業者との「周遊観光バスツアー」の旅行商品開発や販売。 ・小諸城址・懐古園から北国街道沿いの古い町並みを撮影地とした「ポートレート撮影講座」、甲冑を身にまとう被写体をも募集する「侍フォトフェスティバル」などの開催の実施。 ・企業からの寄附や企業版ふるさと納税の応募を活用した市内事業者と動物園の土産品や記念品の商品開発、製作販売。 <p>【民間事業者の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所等が独自で実施していた事業を地域全体で推進することや、こもろ観光局に会員として様々な事業者が参画することで行政だけでは取り組めなかった事業・計画に取り組む。 ・小諸城址・懐古園から見えるまちタネ広場(都市公園)では、毎週末に企業や市民が主催するマルシェやフードマーケットなど、双方での誘客や回遊性を促し、市内事業所の売上向上を図る。 <p>【市民との協働】</p> <p>動物園サポーターを増やし、行政と共に動物園の魅力向上や施設運営の一助となってもらい安定的な施設運営を行う。また、動物園の魅力向上から隣接する小諸城址・懐古園全体の賑わいへとつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「動物園を支える会」による動物園内清掃や環境整備。 ・SDGSの一環で荒地を開墾した土地で動物の餌用にソルガムを栽培し、収穫ボランティアを募って動物の餌づくり活動を実施。 <p>【行政の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政も一会員として観光局に参画し、こもろ観光局が推進する観光地域づくりの実施内容を、行政が行う観光政策や各種計画に反映させ、事業の推進を支援する。 ・行政が保有する情報を常に観光局をはじめ民間事業者を会員にもつ商工会議所と共有し、行政の事業だけではなく地域全体の取り組みについて情報発信するとともに、事業の推進を支援する。 <p>【その他連携者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政が委嘱する2名の「政策アドバイザー」から専門見地、業務経験、先進事例からアドバイスを受けて観光地域づくりや観光事業の活性化の推進を図る。 				
	(2-1) 将来的な（施設の利活用時における）民間からの資金の活用の見通しの有無	有			
	(2-2) PFIの活用の有無	無			

<p>(3) 地域間連携</p> <p>単一の地方公共団体のみを取組ではなく、関係する地方公共団体と連携し、広域的なメリットを発揮する事業であること。</p>	<p>小諸城址・懐古園(動物園)は、今でも年間18.5万人が訪れる観光拠点である。この観光拠点を中心として、以下の連携を実施することで、地域間の地方創生に結びつけている。近隣地域にはない動物園と遊園地は、子どもから大人までが楽しめる唯一の観光コンテンツであるため、広域で観光プロモーションを行いながら、交流人口の増及び観光滞在時間を増加させる。</p> <p>【小諸市・軽井沢町・御代田町(三市町)】 国際的観光都市「軽井沢町」と、既に様々な政策分野で連携を図る仕組みとして「三市町共同事業検討会」が構築され観光事業について検討会議や観光PR事業を実施。 ・北陸新幹線延伸に伴い北陸、関西方面に観光パンフレットの配布、特産物の販売を2回。 ・観光客入込の多い関東圏に引き続き8月と3月の年2回、地元銀行の支店に観光パンフレットや特産物の展示。 ・関越自動車道のSAで観光パンフレットや観光施設の優待券の配布。</p> <p>【浅間山麓広域観光推進協議会(小諸市・東御市・御代田町・軽井沢町・長野原町・嬭恋村)】 群馬県の町村を含めた浅間山周辺の市町村で協議会を構成し観光事業について検討会議や観光PR事業を実施。 ・軽井沢駅で観光パンフレットや観光施設の優待券の配布。(年1回) ・浅間山麓で行われるサイクリングイベントの開催。 ・協議会独自のホームページを立ち上げ、観光情報を発信する。</p> <p>【信州千曲川ワインバレー東地区(小諸市・東御市・上田市・佐久市・千曲市など)】 長野県東信地域のしなの鉄道沿線市町村では、従来からワイン振興が盛んで、イベントの開催や観光誘客、6次産業の推進を実施。 ・ワイナリーの広域的なパンフレットの作成やしなの鉄道の協力のもと沿線でのイベント同時開催を実施。 ・台湾へ訪問しインバウンド観光誘客を連携して実施。 ・隣接する東御市の海野宿とは、北国街道を繋ぐ宿場町としてレンタサイクルコースを企画し連携した広域観光を行う。</p>												
<p>(4) 政策・施策間連携</p> <p>単一の政策・施策目的を持つ単純な事業ではなく、複数の政策・施策を相互に関連づけて、全体として、地方創生に対して効果を発揮する事業であること又は利用者から見て意味あるワンストップ型の窓口等の整備を行う事業であること。</p>	<p>小諸城址・懐古園(動物園)は今でも年間18.5万人が訪れる観光拠点である。この観光拠点を中心として、以下の連携を実施することで、地方創生に結びつけている。</p> <p>【文化振興】 インバウンドを含めた誘客のために、島崎藤村が小諸城址・懐古園で弓を引いたとのゆえんから歴史と文化を肌で感じられる「弓道体験」を絡めた観光商品販売する。これに加え、日本版DMOこもろ観光局を中心に、小諸城址・懐古園(動物園)を観光拠点にした自然、歴史、文化、食を含めたオリジナル旅行商品の開発をする。</p> <p>【公共交通】 本市が官民連携による多極ネットワーク型コンパクトシティで導入したeコマースアプリで、小諸城址・懐古園(動物園)からカートやデマンドタクシー、バスを利用することで中心市街地や移動困難な観光スポットへ誘導する。また、前述のカート等のチケット購入や呼び出し機能を利用し、市内での滞在時間の延長と観光消費の拡大を目指す。更に、一度訪れた観光客に観光情報を発信するなど、これらを行うことで観光客の快適な旅路を提供する「来て楽しい」「また行きたい」となる再来訪の効果を生み出す。</p> <p>【子育て支援・教育】 市内外からの幼児から小学生等が動物園に訪れ、動物に触れあう機会を提供するとともに、夜の動物園や子どもたちの校外学習の受入れ(校外学習では、2018年度から5年間で325校、17,600人を受入れ)から、引き続き動物との共存や、自然環境の保全、動物愛護の普及啓発などを学ぶ機会を創出する。 あわせて、本市にある長野県唯一の動物愛護センターとの連携を図り、出張動物園などタイアップ企画で新たな入園者につなげる。</p> <p>(4-1) 他省庁補助金等の関連する他政策・施策との連携</p> <table border="1" data-bbox="518 1137 1514 1261"> <tr> <td colspan="4">補助金等の名称</td> </tr> <tr> <td>省庁名</td> <td></td> <td>予算額</td> <td>事業実施年度</td> </tr> <tr> <td>連携のポイント</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>	補助金等の名称				省庁名		予算額	事業実施年度	連携のポイント			
補助金等の名称													
省庁名		予算額	事業実施年度										
連携のポイント													

<p>(5) デジタル社会の形成への寄与</p> <p>デジタル技術の持続的な事業への活用やその普及等(デジタル技術の事業への活用を進めるための普及啓発及びその活用を担う人材の育成をいう。)を推進するための取組を行う事業であること。</p>	デジタル社会の形成に寄与することが期待される施設又は設備の具体的内容	
	内容1	動物等ライブ映像配信設備
	内容2	ホームページの再構築
	内容3	入園チケットのデジタル化及び観光・交通eコマースアプリとの連携整備
	デジタル社会の形成に寄与することが期待される理由 (以下①～④より選択の上、その理由(上記内容との関係性等)を具体的に記載)	
	① デジタルの力を活用した地方の社会課題解決、② デジタル人材の育成・確保、 ③ デジタル田園都市国家構想を支えるハード・ソフトのデジタル基盤整備、④ 誰一人取り残されないための取組	
		選択理由(上記内容との関係性等)を具体的に記載
	内容1	③ 小諸城址・懐古園や動物園に行く前の興味を高め、桜の開花や紅葉の風景、来訪時に見れなかった動物の様子などを配信することで、再来訪のきっかけとなる。また、世界に映像をライブ配信することで、小諸城址・懐古園や動物園、更には小諸の認知度を高め、訪日旅行につながることを期待できる。
	内容2	③ リニューアルした施設や新規に導入した動物を画像や動画を入れ見やすく紹介することで、興味を湧かせ来訪やふるさと納税、ボランティアのきっかけにつなげる。また、園内マップのQRコードを掲載し、利便性の向上を図る。
	内容3	① eコマースアプリでの電子チケット購入機能を導入することにより、入園者の利便性の向上を図る。また、同アプリは、小諸市内の店舗・観光スポットの情報や位置を検索することも可能なため、来訪者の回遊性の向上が期待できる。
各内容における目標		
内容1	閲覧回数 年 2,400回	
内容2	閲覧回数 年24,000回	
内容3	電子チケット販売枚数 年20,000枚	

11. 交付対象事業の効果検証及び事業見直しの方法、時期及び体制

外部組織による検証		
検証時期	毎年度	8 月
検証方法	外部有識者で構成する総合計画審議会において、出納閉鎖後から決算議会までの間(6～8月)にPDCAサイクルによる検証を行う。結果については、市公式ホームページへの掲載により公表する。	
外部組織の参画者	【産】・商工会議所副会頭 (一社)こもろ観光局役員 【学】小諸高校校長 【官】・教育委員会教育委員 ・農業委員会会長 【金】八十二銀行小諸支店長 【労】連合長野佐久地域協議会役員 【言】株式会社コミュニティテレビこもろキャスター	
検証結果の公表の方法	市公式ホームページに掲載	
議会による検証		
検証時期	毎年度	9 月
検証方法	上記の総合計画審議会による検証結果を基に、9月議会の常任委員会で、決算審査と併せて実績結果について議論・評価する。	